

2024 年度
高齢社会における
地域活性化人材養成講座
募 集 要 項



杏林大学



MEMO



目次

- 2024 年度「高齢社会における地域活性化人材養成講座」
 - 実施要領 P4-6
- 開講科目について P7
- 必修科目(特別講座A) P8-9
- 必修科目(特別講座B) P10-11
- 選択科目 P12-13
- 応募方法 P14-15

巻末【履修希望者提出書類】

- 「高齢社会における地域活性化人材養成講座」履修願
- レポート用紙

〔同封物〕

- 書類提出用封筒

(郵送の際は 120 円切手 を貼付してください。50g～100g の場合は 140 円)

高齢社会における地域活性化人材養成講座 実施要領

<趣旨>

本講座は地域活動に興味・関心のある方や、すでに行っている方、今後更に広げたい、深めたいとお考えの方を対象に開講します。地域振興やコミュニティに関する基礎知識や、高齢社会における健康をめぐる諸問題を学ぶとともに、地域活動に必要なファシリテーション能力や対人理解能力、健康力アップ支援策の習得・更なるスキルアップを目指します。

本講座は定年前後世代や高齢の方はもちろんのこと、どの世代の方にも「学び直し」、「学び続ける」機会を提供するもので、学校教育法に基づいた「履修証明プログラム」です。

※履修証明プログラムとは

学校教育法に基づき大学等が社会人（市民）を対象に提供する特別のプログラムで、その修了者に対して、「履修証明書」が交付されます。

（単位・学位が授与されるものではありません）

<履修証明書交付要件>

1 カ年（前期・後期）のうちに上記の科目（必修科目 2 科目、選択科目 4 科目以上）を履修して修了要件を満たした場合に「履修証明書」を発行します。

修了要件として、各授業の出席率が 2/3 以上（全 15 回中 10 回以上の出席）であること、成績基準を満たすことを原則とします。ただし、災害など非常時下における個人的事由によらない場合は、出席率が満たなくても、履修証明書を交付することがあります。

<講義>

本講座は必修科目と選択科目で構成されています。

- ・必修科目【特別講座 A：実践型（前期）】、【特別講座 B：講義型（後期）】の 2 科目は、各科目 15 回の講義で組み立てられ、どちらも履修生全員に受講していただきます。
- ・選択科目は前期または後期に、1 科目 15 回の講義を、本学の学生と一緒に受講します。22 科目を用意しておりますので、関心のある講義を 4 科目以上選択してください。

<資格・対象者>

- ・高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する社会人の方
- ・地域活動に興味・関心をお持ちの方

<履修期間（1年間）>

2024年4月から翌年3月まで

<履修に際して>

- ① 講義は本学学生とともに履修する科目もあります。
課題についても学生と同様にレポート提出等を前提とします。
- ② 原則、来校して受講いただきますが、オンラインでの受講になることもあります。
オンライン授業は下記のように実施されます。
 - I. 資料や課題提示による授業
 - II. 収録動画配信による授業（オンデマンド形式）
 - III. リアルタイム配信による授業（授業内でのチャットによる出欠確認や小テストなど有り）
- ③ 課題などの提出は、PCでの作成、送信が求められる場合があります。
(Microsoft Word・Excel・PowerPoint、PDFでの提出、メール添付など)
- ④ 授業に臨む意欲や態度、積極性、判断、思考やレポート等の課題、試験などにより成績評価を行います。
- ⑤ 出席状況の確認を含めて前期終了後に中間指導を実施します。

※ Zoom 他、動画視聴が可能な PC 環境が求められますのでご注意ください。

<登録料・履修料・諸費用> 計 67,340 円

登録料	履修料	保険料
45,000 円 (税込)	21,000 円 (税込)	1,340 円 「学生教育研究災害傷害保険」 「学研災付帯賠償責任保険」

※実験、実習等に要する費用、その他、教材等に要する費用は、履修生の負担となります。
※お支払いいただいた履修料等はお返しできません。

<注意事項>

- ◆本講座の履修証明書は1年単位で発行されるものです。
なお、過去に本学の履修証明プログラムを受講された方については、受講回数が1回（単年度）のみの方に限り再申込が可能です。再受講に関しては、過去の履修状況によって選択科目の履修登録について制限がかかる場合があります。
- ◆学内のルールを守らない、正規学生及び他の履修生・教職員への迷惑行為にあたる行動が見られるなどした場合には、期間中でも履修をお断りします。（履修料等の返還はありません）
- ◆諸般の事情により講座の開講が中止となる場合もあります。
- ◆詳細はお問い合わせください。（P14 参照）

<開講場所>

杏林大学 井の頭キャンパスおよび、三鷹キャンパス（科目による）

※駐車場、駐輪場はございません。

※各科目の授業教室については、ガイダンス時にお知らせします。

お願い

井の頭キャンパスには徒歩または公共交通機関を利用してお越しください。

※井の頭キャンパスへのアクセスの詳細は、右のQRコードからご確認ください。



開講科目について

本講座は必修科目と選択科目で構成されています。
必修科目（特別講座A・B）・選択科目とも、前期または後期のいずれかの学期において、原則1科目15回の講義で組み立てられています。

必修科目2科目と、選択科目4科目以上を選択し、合わせて6科目（135時間）以上を履修していただきます。

講義日が祝日や行事と重なった場合には補講を行います。

■必修科目（特別講座A及びB） ※詳細はP8-11を参照
原則的に水曜日、16:30～18:00に開講します。

※特別講座は前期を「A」、後期を「B」として、上記時間帯で1年間、1科目につき合計15回の講義を用意しております。

■選択科目 ※詳細はP12,13を参照
22科目より4科目以上の科目を選択履修していただきます。

■時間割

1時限	9:00～10:30	4時限	14:40～16:10
2時限	10:40～12:10	5時限	16:20～17:50
3時限	13:00～14:30	6時限	18:00～19:30
★特別講座A・B 開講時間		(原則) 水曜 16:30～18:00	

(前期) 必修科目 特別講座 A

テーマ：『未来志向の持続的なまちづくり』

地域の捉え方は人によってまちまちです。例えば、ある地域でその地域のことを「過疎化が進展し寂しい」と捉える人もいれば、「静かで落ち着いたまち」と捉える人もいるでしょう。

少子高齢化や労働人口が減少する中で、ハード主体の都市整備的な「まちづくり」は平成初期以降続く地方財政の財源不足に加えて、急速に変化する社会システムや価値観の多様化による住民ニーズの複雑化などから地方自治体がトップ・ダウン型で既存の公共サービスを維持しつづけることは難しくなっています。

一方、近年重要視されているSDGsでは、目標11に「包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」において、「参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化すること」が提唱されており、地域住民自らが地域の置かれた課題を認識し、次世代に受け継ぎたい地域ビジョンを描き、地域に関わる多くのステークホルダーを巻き込みながら協働していくこと、つまりボトムアップ型の「まちづくり」が求められています。

こうした中で、本講座では、流行や思い付きのアイデアではなく、まちの現状を丁寧に分析し、内在する課題を抽出し、限られた資源を有効に活用できる「未来志向の持続的なまちづくり」を検討します。講座前半では内在する地域課題を明らかにするためのアプローチを学び、自らが住む地域課題の発見に努めます。講座途中では、課題ベースで地域住民が主体的に運営する場所に実際にフィールドワークで訪れます。講座後半では、実際の地域課題をいかに解決するのかを少人数のグループに分かれて検討します。講座の最終的なゴールは、地域住民が主体的に担うことが出来る「未来志向の持続的なまちづくり」の模索です。



講座の様子



地域のイベントや杏林祭に出展



－スケジュール（特別講座A）－

原則 水曜日（16:30～18:00）に開講

回	日程	授業内容	教員
第1回	4月10日	イントロダクション「特別講座A」の概要について	三浦秀之・他 (一部外部講師)
第2回	4月17日	アイスブレイク・ワークショップ	
第3回	4月24日	行政が捉える地域課題・住民との協働 三鷹市職員の報告と意見交換	
第4回	5月1日	データに基づく地域課題の抽出・仮説の設定	
第5回	5月8日	データに基づく地域課題の抽出・仮説の設定	
第6回	5月15日	ヒアリングに基づく仮説の検証	
第7回	5月22日	ヒアリングに基づく仮説の検証	
第8回	5月29日	仮説検証の発表と地域課題の明示・グループの組成	
第9回	6月5日	事例・ケーススタディ研究（1）	
第10回	6月12日	事例・ケーススタディ研究（2）	
第11回	6月19日	地域課題解決のためのアイディエーション	
第12回	6月26日	地域課題解決のためのアイディエーション	
第13回	7月3日	ペルソナ・シーン分析	
第14回	7月10日	ペルソナ・シーン分析	
第15回	7月17日	まとめ：成果プレゼンテーション	

※1 本講座は原則としてキャンパス内授業で構成されますが、授業外課題として地域調査を求めることがあります。

※2 講義内容などが変更となる可能性があります。

(後期) 必修科目 特別講座 B

テーマ：『市民の健康と災害に備えるまちづくりへの地域貢献』

本講座は地域活性化人材として有用な医学・保健学の知識・技術を多様な専門分野から解説します。そして日々の営みのなかで健康を享受でき、充実して活力ある生活を享受する術を体験・会得することを目的とします。そのため様々な専門分野の教員がオムニバス*で担当します。

本学では地域貢献の一環として、健康で活力ある生活を送ることでより豊かな地域にするための様々な活動を実施してきました。また東日本大震災以来、その被災者の復興支援や健康維持に対する諸活動にも携わってきました。それらの活動を紹介し、活動で得られた経験をお伝えし、共有します。

それによって今後の地域貢献やさらには地域のリーダーとして活躍していただくために、地域内でのつながりの創出やコミュニティ、言語・異文化コミュニケーション、健康で活力ある生活を実現するための多様な基礎知識、課題、各方面の取り組みなどを学びます。

※オムニバスとはテーマに合わせて複数の教員の専門的な講義を集めて1科目としたものです。

※講義内容等が変更になる場合があります。

講義の様子



－スケジュール（特別講座B）－

原則 水曜日（16:30～18:00）に開講

回	日程	授業内容	教員
第1回	9月18日	総論 健康寿命延伸と災害に備えるまちづくりについて	石井博之
第2回	10月2日	地域での健康づくり	榎本雪絵
第3回	10月9日	地域診断と健康づくり戦略	門馬博
第4回	10月16日	子育て支援	加藤雅江
第5回	10月23日	健康と運動	柴田茂貴
第6回	10月30日	認知症の基礎知識	鈴木優喜子
第7回	11月6日	ボッチャ競技の地域での人と人との繋がり形成における有用性	一場友実
第8回	11月13日	海外での難民支援の取り組み	外部講師 (難民を助ける会)
第9回	11月20日	被災地での復興支援の取り組み	外部講師 (難民を助ける会)
第10回	11月27日	我々が実施している復興支援の活動紹介	三浦秀之 石井博之
第11回	12月4日	認知症の予防	富田泰彦
第12回	12月11日	被災者と健康	
第13回	12月18日	大規模災害等への備えと対応・災害時に身を守るために	宮野收
第14回	12月25日	心肺蘇生法及びケガの手当等	
第15回	1月8日	まとめ	石井博之

※各回のテーマに合わせて様々な学部の教員が担当します。

選択科目

高齢社会における地域活性化に関連のある科目を学ぶことができるよう、3学部全体で22科目を設けています。その中から興味・関心のある科目を4科目（原則として1科目15回の講義で構成）以上選択していただきます。講義は様々な形態（対面や遠隔など）で実施され、学生とともに履修していただきます。なお、時期・曜日・時限については変更の可能性がありますので、ご了承ください。

提供学部 保健：保健学部、総合：総合政策学部、外語：外国語学部

■ 前期 ■

No.	曜日	時限	提供学部	科目	担当教員
1	月	2	総合	ローカル・ガバメント論A	進邦 徹夫
2	火	4	保健	生命倫理学	角田 ますみ
3	火	5	外語	ウェルネス ツーリズム論	小堀 貴亮
4	木	1	保健	乳幼児・児童心理学	脇谷 順子
5	金	1	総合	社会福祉政策論	岡村 裕
6	金	1	外語	コンテンツ ツーリズム論	崎本 武志
7	*1 オンデマンド		総合	生活と法	大西 健司

■ *2 集中講義 ■

No.	期間	提供学部	科目	担当教員
8	8月下旬	保健	救命救助法	宮野 収

*1・・・「オンデマンド」は動画視聴の講義となります。

*2・・・集中講義は期間内で指定される数日間の講義となります。

※・・・社会情勢によりオンライン授業に変更となる場合や開講されない可能性もあります。（P5 参照）

※・・・履修予定者（学部生）数の調整により履修制限を設けることがあります。

■後期■

No.	曜日	時限	提供学部	科目	担当教員
9	月	2	保健	健康・医療心理学	古川 綾子
10	月	2	総合	ローカル・ガバメント論B	進邦 徹夫
11	月	3	保健	健康スポーツ科学	平澤 愛
12	月	4	外語	コミュニケーション概論	八木橋 宏勇
13	月	5	保健	高齢保健学	岡本 博照
14	火	3	総合	メディア・コンテンツと法	尾崎 愛美
15	火	4	外語	観光学入門	古本 泰之
16	水	3	外語	温泉観光学	小堀 貴亮
17	木	1	保健	発達臨床心理学	櫻井 未央
18	木	2	保健	高齢者福祉論	片桐 朝美
19	木	2	外語	観光メディア論	安江 枝里子
20	木	3	外語	NPO・NGO 論	赤嶺 恵理
21	金	3	外語	観光まちづくり論	古本 泰之
22	*1 オンデマンド		総合	日本国憲法	大西 健司

1時限	9:00~10:30	4時限	14:40~16:10
2時限	10:40~12:10	5時限	16:20~17:50
3時限	13:00~14:30	6時限	18:00~19:30
★特別講座 A・B 開講時間		(原則) 水曜 16:30~18:00	

応募方法

本講座の履修を希望する方は、応募期間内に次の4点をご準備いただき、本学地域交流課宛に郵送にてご提出ください。

- (1) 「高齢社会における地域活性化人材養成講座」履修願（巻末・所定書式）
 - ・記載内容の確認のため電話連絡をさせていただく場合がありますので、日中連絡のつく電話番号を記載してください。
 - ・これまで行われてきた、または行いたいとお考えの地域活動や志望動機を記載してください。
- (2) 出願レポート [1200字以内]（巻末参照）
- (3) 履修の資格を証明し得る書類（卒業証明書等の入手が困難な方はご相談ください。）
- (4) カラー顔写真（3 cm×2.4 cmの縦長） 2枚
 - ※一枚は履修願に貼付してください。
 - ※もう一枚は履修生カードを作成する際に使用します。

<応募期間>

2024年2月1日（木）から2月29日（木）当日消印有効です。

<定員>

最大20名

<選考結果の通知・履修料納付>

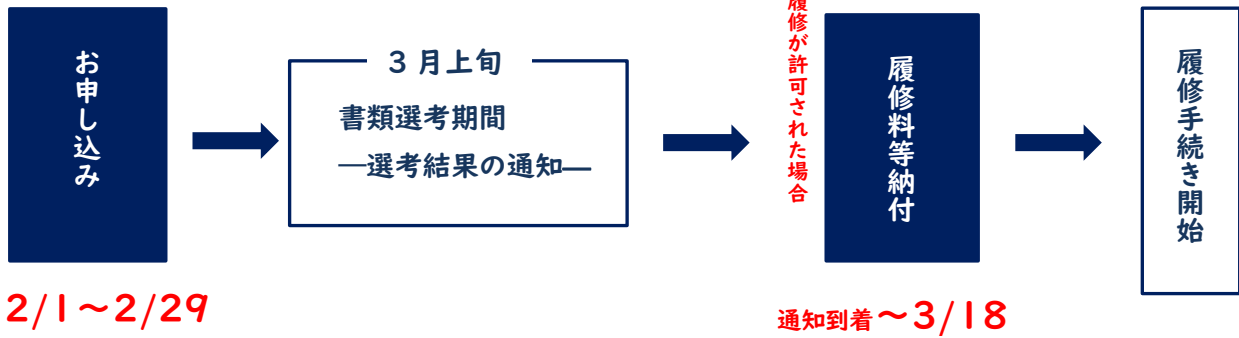
書類選考の上、2024年3月上旬に通知を発送致します。
履修許可書とともに同封されている、振込に関する書類をご確認のうえ、履修料等をお振込みください。納入が確認されました後、授業要目をお送りします。

<お問い合わせ> 井の頭キャンパス 地域交流課（C棟1F事務室内）

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
TEL：0422-47-8000（代）FAX：0422-47-8054
MAIL:area@ks.kyorin-u.ac.jp
（平日・9時～17時15分、土・9時～13時、日・祝休）



－ 応募の流れ －



－ 履修料等納付後のスケジュール －

2024年	3月末まで	授業要目送付
	4月初旬	新学期オリエンテーション
	4月8日(月)	授業開始
	4月中旬	選択科目の提出締め切り

※詳細な日程は改めてご案内いたします。



－ 送付前に再度ご確認ください －

- (1) 「高齢社会における地域活性化人材養成講座」
履修願(所定書式) 裏面のアンケートもご記入ください。
- (2) 出願レポート(1200字以内)
- (3) 履修の資格を証明し得る書類(卒業証明書、卒業証書の写し等)
- (4) カラー顔写真(3cm×2.4cmの縦長)2枚 ※1枚は履修願に貼付



杏林大学 井の頭キャンパス 地域交流課 (C棟1F事務室内)

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

TEL : 0422-47-8000 (代) FAX : 0422-47-8054

MAIL : area@ks.kyorin-u.ac.jp

申請年月日： 年 月 日

2024年度

「高齢社会における地域活性化人材養成講座」 履修願

登録番号 ※大学記入											
フリガナ											
氏名											
生年月日	昭・平		年		月		日		(歳)		
現住所	〒 -										
連絡先	TEL :					FAX :					
	携帯電話 :					勤務先 :					
	E-Mail :										
	(勤務先住所)										
緊急連絡先	(フリガナ)					続柄					
	氏名							TEL :			

写真貼付欄
縦3cm×横2.4cm
※一般に経歴書
で使用するサイズ
とは異なります。

キ
リ
ト
リ

これまで行われてきた、または行いたいとお考えの地域活動内容、および志望動機

・ 地域活動

・ 志望動機

	※受付印	備考
募集要項を確認しました。履修を希望します。 (自署署名・捺印) 氏名 印		

※ご記入いただいた個人情報については適正に取り扱い、高齢社会における地域活性化人材養成講座運営以外の目的では使用しません。

年	月	学 歴

年	月	職 歴

資格・免許・特技など

パソコン利用および通信環境に関するアンケート 該当する□にチェックしてください。

- 自分用に所有している機器すべてに をしてください。(時間の制限なく利用可能)

<input type="checkbox"/> 携帯電話 (ガラケー)	<input type="checkbox"/> デスクトップPC (カメラ: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
<input type="checkbox"/> スマートフォン	<input type="checkbox"/> ノートPC (カメラ: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
<input type="checkbox"/> タブレット (カメラ: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)	<input type="checkbox"/> WEBカメラなど付属機器
	<input type="checkbox"/> プリンター
- 通信環境について

<input type="checkbox"/> Wi-Fi (90分授業の受信可能)	<input type="checkbox"/> スマホ5G
<input type="checkbox"/> Wi-Fi (長時間利用はストレス有)	<input type="checkbox"/> スマホ4G
<input type="checkbox"/> 有線LAN	<input type="checkbox"/> スマホ3G
- 毎月の通信環境について

<input type="checkbox"/> 無制限利用可能	<input type="checkbox"/> _____ GB/月程度
----------------------------------	---------------------------------------
- PC基本操作について

<input type="checkbox"/> キーボードを使って文字打ちなどができる	<input type="checkbox"/> Zoomミーティングに参加できる
<input type="checkbox"/> メールの送受信ができる	<input type="checkbox"/> Microsoft Teams を利用できる
<input type="checkbox"/> メールにファイルを添付して送信できる	<input type="checkbox"/> インターネットで必要なこと・知りたいことを検索できる
<input type="checkbox"/> ワード・エクセル・パワーポイントなど何とか使うことができる	
- 授業資料の印刷について

<input type="checkbox"/> 自宅のプリンターで可能	●受講場所について
<input type="checkbox"/> 近隣 (コンビニ等) で可能	<input type="checkbox"/> 自宅の自室 (お一人で受講可能) な場所がある
<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 自宅のリビング等 (ご家族のいる部屋で受講) できる
	<input type="checkbox"/> 自宅では不可

履修希望者用出願レポート（1200字以内）※MicrosoftWordでの作成も可

（末尾に文字数を記載してください）

- 課題● 1. あなたが地域活動を行うにあたって最も大事にしていることは何ですか。
- 2. あなたが現在取り組まれている（あるいは取り組みを予定している）地域活動について活動目的・内容及び活動における課題や疑問があれば記述してください。

記入日： 年 月 日

氏名 :

→ 横書きをお願いします。

10

20

キ
リ
ト
リ 10

20

No.

氏名 :

10

20

キ
リ
ト
リ 10

20

28

No.

氏名 :

10

20

10

(200字)

キ
リ
ト
リ